

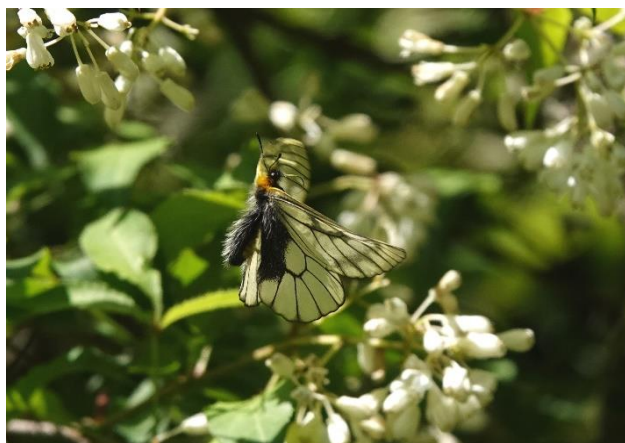
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ウスバシロチョウ	アゲハチョウ科	翅脈以外は半透明 フワフワとした飛翔	X	X	X	北海道：平地～山地 本州：丘陵、山の草地



滋賀県 坊村 5月21日（1971年） ゲンゲに飛来



町田市 5月4日（2022年） タンポポに飛来



八王子市 5月3日（2023年） ヒメウツギに飛来

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
ムラサキケマン他ケシ科				1		卵					

ウスバシロチョウというと、京都にで暮らしていた学生時代、5月にミヤマカラスアゲハとこのウスバシロチョウの採集にバスで花折峠を越えて比良登山口（主峰武奈ヶ岳登山口）の坊村を訪れていたのを思い出します。ミヤマカラスアゲハは本流である安曇川（アドガワ）や支流の溪流沿い、ウスバシロチョウは本流の河岸の食草であるムラサキケマン、ゲンゲ、タンポポ、或いはネギ坊主に飛来。時期さえ間違えず、そして天気さえ良ければあちこちで飛んでいるのに天気が悪いと姿を隠してしまい、こちらが坊主（収穫ゼロ）ということもありました。今住んでいる多摩川中流域では見られませんが少し山の方に足を伸ばせば出会える蝶です。



八王子市 5月3日（2023年） ヒメウツギに飛来